



見る
聞く
さかす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第36号 発行日/1997.12.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部
事務局/生涯学習課 ☎0294-22-3111
〒317 日立市助川町1-1-1

百年塾フェスタ '97

若者ももえた7つの出あい

「出あい」を合言葉に、百年塾フェスタ '97が10月25・26日の2日間、新都市広場やマーブルホールなどで行われ百年塾7つのテーマにそった展示、発表、体験コーナーなどが設けられました。今年はたくさんの中学生や高校生が実行委員として企画から参加し若さで大いに盛り上げました。また、「人にやさしいまち」では障害をもった人たちの演奏や、「市民と企業が共生するまち」では、中小企業が自社技術や製品を展示し市民へのアピールにつとめるなど、百年塾らしいフェスタとなりました。

ありがとう!ビッグハートへ166,720円

ネパールに学校を贈ろうとフェスタ '95から始まったビッグハートには、多くの市民の方や若者フリーマーケット参加金、若者コーヒー店、ごみを減らす課のリサイクル品などの売上げ金が寄せられました。



国際色豊かなファッションショー



私も妊婦になって
～女性って大変ですね～



フェスタを盛り上げた若いパワー



さわやか 健康 フレッシュダンス



イライラ棒に400人がチャレンジ



楽しい演奏 キラキラ合奏団



高校生スタッフが見事なプロデュース



大きくふくらむ夢アート



今年は企業も積極的に参加



リサイクルですてきな作品に

若者スタッフからひとこと

福地美保さん (多賀高校)

はじめは好奇心で参加しましたが、コーヒーの売上げがだんだん増えてくると、ビッグハートにたくさん募金ができると思ってうれしくなりました。みんなと一緒に楽しくでき

ました。

細川雅行さん (多賀高校)

これまでも国際大道芸のスタッフなど、ボランティア活動はしていました。百年塾フェスタもよい経験になりました。

岡部世子さん (大久保中)

バルーンアートは人気がありまし

た。疲れたけどとてもよかったと思います。楽しかったので、また参加したいと思います。

軍司奈菜さん (大久保中)

分りにくい場所だったけど、もっと目立つところでやれば人も多く来てくれると思います。楽しかったのでまた参加したいです。

百年塾サロンが移転します!

百年塾サロンが12月24日(水)から(仮称)教育プラザ(旧記念図書館)1階へ移転します。
所在地 日立市神峰町1-6-11
(TEL 37-0064)
百年塾サロン TEL 23-9165
FAX 24-5200

百年塾フォーラム

身近なことから始めよう

11月15日(日)百年塾フォーラム「私のボランティア」が行われました。

鳩山学区のコミュニティで活躍している庄司幸悦さんをコーディネーターに、日立市民音楽連盟事務局長の芳賀順一さん、知的障害をもっている人々との交流を続けている根本建市さん、日高学区コミュニティの役員として活躍中の志賀勝弘さん、身近なことから公共場所の清掃に取り組んでいる高部政美さんの、4人によるディスカッションが行われました。

参加者からも活発な意見がたくさん出されました。

ボランティア活動のキーワード

気軽に楽しく

- ◇遊び感覚でやればよい。
- ◇楽しんでやっている。
- ◇楽しくなければ続かない。
- ◇構えないことが大切。
- ◇仕事を離れて気分転換になる。

新しい出会い

- ◇新しい人やものごとに出あえる。
- ◇小さな世界から抜け出せる。
- ◇異質に合うことができる。

みんなで理解を

- ◇仕事とボランティアの両立に努力がある。
- ◇会社も理解する時代になっている。
- ◇ボランティア休暇制度もあるが利用されていない。利用しづらい？



◇会社、家庭、ボランティア仲間に
よき理解者がいることに感謝。

きっかけづくりは

- ◇始めようとするとき勇気がある。
- ◇きっかけづくりが必要。
- ◇身近なことから始めよう。
- ◇地域で生活を通して始めよう。
- ◇自分のもてる特技に関わればよい。
- ◇自分のまわりを知ることから。

仲間づくり

- ◇グループをつくりたい。

◇友達を誘おう。一声かけよう。
◇一緒にやる人を増やす。

自分を見つける

- ◇自分の行動が社会へいくらか還元できたと思う時、やりがいがある。
- ◇会社を離れた活動は女性がリードしているのではない。常に自分の生き方を模索している必要がある。
- ◇若いときから廻りをみる習慣をつけることが大切。
- ◇定年後やればよいはだめだ。
- ◇自分を成長させてくれる。



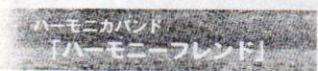
熱心に討議する参加者

企業人100人に聞きました

百年塾企業部会部員のまわりの人たちにボランティア参加意識について聞いてみました。

ボランティア活動参加の有無についての質問では「している」の18人に対して「していない」60人と

ここにもこんな出あい



百年塾の熟年研究会の有志でつくっているハーモニカバンドが、10月4日に金沢老人福祉センターで演奏会を開きました。

昔なつかしい「赤トンボ」「ふるさと」や歌謡曲などを約1時間にわたって演奏。哀愁を帯びたハーモニカの美しい音色に、会場からは惜しめない拍手が送られました。



練習の成果を披露するハーモニーフレンド

実に楽しそうです。多くのリクエストにも応えられるようにと、それぞれがレパートリーを増やす努力も怠りません。「次はどんな曲にチャレンジしようか、どこで演奏しようかとみんなで話し合うのがとても楽

しい」とメンバーのみなさん。

ハーモニカを通してのさまざまな出あいは、これからもさらに広がります。



全国各地の伝統芸能を広く市民に紹介しながら郷土の芸能を育てていくとする、ひたち伝統芸能シリーズ'97が10月11・12日の両日、日立



新都市広場で開催されました。今年は「いのち輝け！大地にひびけ！」と題し、北は秋田の竿燈から南は沖縄のエイサーまで全国から12の団体が出演。約1万人の市民に各地に伝わる芸能が披露されました。

その初日最初に登場したのが市内

6つの保育園児たちによる「日立荒馬(あらま)踊り」です。お囃子と“ラッセラー”の掛け声に合わせ飛んだり撥ねたりする「荒馬踊り」は、青森のねぶたまつりで行われているもの。これを市内保育園の保育者たちが園児に指導し郷土の芸能で成長しつつあります。しかし一方では保育者の転勤で指導者がいなくなったり、子どもたちも卒園すると踊る機会がなくなるという実情も。従って今後は指導者の育成や発表の場をつくるためにも、地域や教育の場などで支援をし、子どもたちと伝統芸能との出あいを大きく育てていきたいものです。

第1回 百年塾広報紙コンクール

できばえを評価し合ひましょう。

とき 1月24日(土)
午後1時～3時30分
視聴覚センター4階ホール

対象 ■小・中学校PTA
■一般

各賞 □本部長賞
□審査員長賞
□広報部会長賞
□フォト賞

- 見出し賞
- レイアウト賞

内容 表彰と交流

講座案内

社交ダンス なたしご会

ダンスを通じて美容と健康を保ち、親睦を深めることを目指します。

- 東多賀河原子コミセン
- 毎週木曜日 午後7時～9時
- 男女各10名 ●会費月1,000円
- 連絡先 山口(☎36-2698)18時以降